

海岸

中野
劇団

海岸

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

淳平

和雄

D (ディレクター)

淳平と和雄が海岸に座っている。Dが二人の周りをうろうろしながら、説明中。

D

これね、本通りにやると二人の設定があんまり見えて来ないんですよ。だからね終わりは今の形になるようにして、前の部分を少し作ってほしいんです。海岸で、男二人何かスポーツやった後でお腹が空いてるってとこだけ決めて後はお任せしますんで、上手いことマヨネーズを出して下さい。小物とかないですけど、後で

CGでどうにでもなりますから、設定自由にやってくれていいんで。テープがもう残り少ないで設定が破綻しないように気をつけて一回で決めて下さいね。じゃあ、本番行きます。三秒前！

三、二、一。

淳平 おじさんやるじゃん。

和雄 いやあ。

淳平 ホントは初心者じゃないんじゃないかね？ 初めてであそこまでできるなんて、筋がいいね。

和雄 いえいえ。淳平君も初心者にはなかなか。

淳平 初……。そう？ いやあ、凄え楽しい。パラグライダーって。

和雄 パラ……。ねえ。二人初心者でタンデムってありえないですよね。

淳平 地面離れてからさ、言ったっしょ。実は私パラグライダー初めてなんですけどって。あれさ、マジびびった。

和雄 お互いに相手をインストラクターだと思ってたなんて。

淳平、和雄の方に身体を向け、タンデムの後ろ側の人の感じで。

淳平 何で、この人俺のこと先生先生つつーんだろって思ってたけどさあ。

和雄、淳平の方に身体を向け、向かい合わせになる。

和雄 私もどうして後ろなんだろって。あとどうして向かい合わせなんだろって。死を覚悟しました。下に行きたいのに、上に上に行くし。なのにゲラゲラ笑ってるし。

淳平 だってさ、景色超良かったじゃん。

和雄 初めて見ました。ホントにゲラゲラって笑う人。

淳平 ゲラ……。つーかさ、パラグライダーってあんな飛ぶとは思ってなかった。
和雄 ですよね。

淳平 海超えて無人島まで飛ぶなんて。

和雄 む、ええ。ホントに思ってたより飛びましたね。……ここ、何て島かな。

和雄、海岸で石を投げてる。

淳平 これさ、この島ってさ。

和雄 はい……。

淳平 でかくね？

和雄 ええ。

淳平 な。大陸だよな。

和雄 んん……。

淳平 人住んでねえってさ、意味わかんなくね？

和雄 まあ。

淳平 何、新大陸発見しちゃってんの俺。俺はコロンボかつーの。

和雄 ……。

淳平 突っ込めよ「コロンビア」だよ。

和雄 コロンブスです。

淳平 ぐるっと見て回ったじゃん。馬に乗って、この無人大陸をさ。でさ、俺さ、かなり

重大な事実に気づいたんだけどさ。

和雄 何ですか？

淳平 あれさ、馬じゃなくね？

和雄 え？ 島の秘密じゃなくて？ ああ。馬じゃないです。

淳平 全然馬じゃねえよな。

和雄 全然馬じゃないですね。

淳平 つーかさっき気づいたんですけどさ。

和雄 え、さっき気づいたんですか？

淳平 え？ 気づいてた？ ちょっと待っていつ？

和雄 え？ 最初から……。

淳平 マジでえ？ 言えよー。

和雄 そうか、馬だと思ってたんだ……。

淳平 だって馬っぽいじゃん。

和雄 蹄じゃなくて、指、でしたよ。

淳平 ゆ、なあ。さっき確認してマジびびった。「うおお、指じゃん」って。ぱっぱかぱっぱか言ってるから全然気づかなかったんだけど。

和雄 確かに紛らわしいですよね、あの鳴き声。

淳平 鳴……、だろお？

和雄 けど、走り方が全然違うじゃないですか。

淳平 だからそれも、さっき気づいてさ。

和雄 ずっと乗ってたのに。

淳平 乗りこなすのに集中してたからさ。

和雄 それでは。何で無理して乗ろうとするのかなって思っていました。

淳平 なあ。何乗りこなしちゃってんの、俺。ハハハ。

淳平をじっと見ている和雄。

淳平 ？

和雄 ……。

淳平 ゲラゲラゲラ！

嬉しそうな和雄。

淳平 あとさ、お腹に袋あったじゃん。

和雄 それもさっき気づいたんですか？

淳平 ちげえよ。それは最初から気づいてたっつーの。

和雄 だったら何で馬って？

淳平 え？……。基本的に馬にもあるって思い込んでた。今、よくよく考えたら馬って袋なくね？ ってたってさ。

和雄 ありますありますうん。そういうことってあります。私も前に、何故か、蟹の足って全部ハサミだと思ひ込んで……。

淳平 あれ餌入れる袋じゃね？

和雄 (ボン) 聞かないと。

水平線を見つめる淳平。

淳平 おじさんさあ、ロビンソンIIクルソーって知ってる？

和雄 え？ ええ、あの、無人島に……。

淳平 昔、そこでバイトしてたんだけどさ。

和雄 あ、居酒屋の。

淳平 一緒にバイトしてたさ、宮田っていたじゃん？

和雄 いえ、わからないですけど。

淳平 ほら、コンタクトしてる。

和雄 いえちよっと。

淳平 その宮田がさ、好きな子がいてさ(略)宮田、フラれてさ(略)……。

淳平、宮田の話と思わせて自分の話をしている。

淳平 (略)でも「俺」はさ……。

宮田と言うところを間違えて、「俺」と言ってしまう、和雄に自分の情けない話だとばれてしまう淳平。

淳平 うっせーよお！

和雄 ええ？

和雄

……。

淳平

……さっきから、何で海に虫を投げてんの？

和雄

ええ？ ……石がないから？

淳平

何でそんなでけえ虫掴めるわけ？

和雄

そうですか？

淳平

俺、せってー無理。……腹減って来たなあ。果物とか魚とかさ、全然いねえんだけど。

和雄

てことはさ、あの馬しかいないわけですよ。

淳平

あれは不味いからダメ。

和雄

いつ食べたんですか？

淳平

勘。沢山生むわけじゃねえのに沢山いる奴は、どの生き物も不味くて食わねえか

らじゃん。これ、俺の持論？

和雄

単にあれより大きい動物がいなかっただけじゃ……。

淳平

あと、不味そうに見えるもんほど美味え。

和雄

それはありますね。

淳平

な、な。トリユフとか。フォアグラとか。

和雄 ウニとか、アワビとか。

淳平 あとその虫とか。

和雄 あぐおお……。これですか？

淳平 食わせて。

和雄 え？ ああ。

淳平 剥いて。

和雄 これは何処からが身なんでしょう……。

和雄、虫を剥いて洗って、淳平に食べさせる。

淳平 おじさんも食べなよ。

和雄 ええ？

淳平 食べなきゃ死ぬよ！

和雄、虫を剥いて洗って躊躇う。淳平、ズボンからマヨネーズを取り出す。

D オッケー！

D 登場。

D いやあ、長いですう！ 一分間のCMですよ。

和雄 ちょっとオーバーしちった？

メイク、和雄のメイクを直す。

D 淳平君演技良かったよ。ただ虫はまずい。なぜならマヨネーズのCMだから。

淳平 すいません。

和雄 いやあ淳平君。自由だなあ。けど折角今のいい感じでマヨネーズ出せたのになあ。

尺の方長くできないの？

D 無理ですねえ。

和雄 じゃあ今の奴を目茶苦茶早口でやれば。

D 音は使わないんですよ。

和雄

あそ
う。

終わり。